

平成30年度

北海道教育大学 札幌校 教員養成課程 編入学試験問題

(言語・社会教育専攻 国語教育分野)

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、問題紙を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は、表紙を除いて6枚あります。試験終了後、すべて回収します。
- 3 下書き用紙は、1枚あります。試験終了後、回収します。
- 4 印刷不鮮明あるいは用紙の汚れ等により、交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 5 問題は、問題一から問題六まであります。すべての問題に解答すること。
- 6 解答は、問題紙の指定された解答欄に、縦書きで記入すること。
- 7 字数の指定がある場合は、句読点も一字分とします。
- 8 受験番号を、指定の欄のすべてに記入すること。

得点 ( ) / 300 ( )

問題一 次の各問いに答えなさい。(合計70点)

問一 次の漢字の部分の読み方をひらがなで書きなさい。(各2点×10問、合計20点)

- ① 饒舌  
 ② 糊塗  
 ③ 誰何  
 ④ 真蹟  
 ⑤ 微塵  
 ⑥ 搾る  
 ⑦ 悼む  
 ⑧ 醸す  
 ⑨ 凌ぐ  
 ⑩ 眩く

【解答欄】

- ① ② ③ ④ ⑤  
 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問二 次の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。(各2点×10問、合計20点)

- ① 最初の方針をケンジする。  
 ② コウシヨウな趣味を持っている。  
 ③ 会議がシンコウに及んだ。  
 ④ 相手にイツシを報いる。  
 ⑤ 苦言を黙ってカンジュする。  
 ⑥ カイシンの笑みを浮かべる。  
 ⑦ 他国の攻撃をケンセイする。  
 ⑧ カパンを手に持つ。  
 ⑨ 井戸の水をクむ。  
 ⑩ 山のフモトまで行く。

【解答欄】

- ① ② ③ ④ ⑤  
 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

問三 次の慣用表現の誤りを直して、全体を書きなさい。ただし、誤りがない場合は○を書きなさい。また、それぞれの慣用表現の意味を書きなさい。(各6点×5問、合計30点)

- ① 怒り心頭に達する
- ② 眼光誌背に徹す
- ③ 舌先三寸
- ④ 自我自賛
- ⑤ 意心伝心

【解答欄】

(正しく書き直す。誤りがない場合は○を書く。)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

(意味を書く。)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

問題二 次の——線部の部分について文法的に説明しなさい。(品詞、活用の種類、活用形、意味用法などをできるだけ詳しく書くこと。)(各6点×5問、合計30点)

- ① どこにでも行ける。
- ② 健康に気を付ける。
- ③ 湖面が鏡のようだ。
- ④ 見るべきものがない。
- ⑤ 情けないと思った。

【解答欄】

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

問題三

次の①～④に答えなさい。(各5点×4問、合計20点)

- ① 歌集『みだれ髪』の作者の氏名を、漢字で書きなさい。
- ② 小説『聖家族』『風立ちぬ』の作者の氏名を、漢字で書きなさい。
- ③ 三島由紀夫の代表的な作品(小説に限る)の名称を、一つ書きなさい。
- ④ 写実主義を日本で最初に提唱した作家の氏名を、漢字で書きなさい。

【解答欄】

①

②

③

④

問題四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(80点)

秋が深まるなか、第七〇回読書週間が始まっている(十一月九日まで)。ことしの標語は「いざ、読書」。本の社会的な意味や、学校図書館の役割を考える機会にしたい。毎日新聞社が、一六歳以上を対象に実施している読書世論調査が、節目となる七〇回を迎えた。

終戦まもない一九四七(昭和二二)年、「読書の力によつて、平和な文化国家を作ろう」という決意の下、第一回読書週間が設けられた。それに合わせて読書世論調査は始まり、日本人の心の軌跡を映してきた。

日本が文化国家になるためにはどんな書籍の出版に力を入れなければならないか。今回、第一回と同じ選択肢で聞いたところ「歴史」が一五%でトップになった。第一回は「科学技術」が最も多かった。

同じ年に設けられた毎日出版文化賞の第一回受賞図書には、「細雪」などとともに自然科学の書物が多く選ばれた。ベストセラーの一つには「キユリー夫人伝」があった。

復興は科学技術からという国民の意識が、高度成長やバブル崩壊などを経て、過去を教訓に現在と未来に思いを巡らす方向へと移り変わったことがうかがえる。

もつとも、この間に若者らの読書離れは進み、文化国家の基礎が揺らぎかねない事態になっている。それでも時代を超えて読み継がれている文芸作品は少なくない。

没後一〇〇年になる夏目漱石の「坊っちゃん」は「読んだことがある」と六一%が答え、最も読まれた本に選ばれた。教科書に取り上げられることで人々に親しまれ、定着している様子が見て取れる。

子どもの読書体験は、学びの土台を形作る。学校図書館は本との出会いの場として、その土台作りに貢献してきたと言えよう。

しかし、図書予算がこれまで十分に計上されてきたわけではない。全国学校図書館協議会(全国SLA)の森田盛行理事長は「学校図書館には古い本が多い。

新しい知識を得るには本を買い替えなければならないが、購入費が少ない」と話す。子どもの間には学校図書館に他の役割を望む声もある。

(次に続く)



問題五 次の『土佐日記』正月十一日条の一部を読んで、後の問いに答えなさい。(合計50点)

人みなまだ寝たれば、海のありやうも見えず。ただ、月を見てぞ、西東をば知りける。かか  
るあひだに、みな夜明けて、手洗ひ、例のことどもして、昼になりぬ。今し、羽根といふとこ  
ろに来ぬ。わかき童、このところの名を聞きて、「羽根といふところは、鳥の羽のやうにやあ  
る」といふ。まだ幼き童の言なれば、人々笑ふときに、ありける女童なむ、この歌をよめる。  
まことにて名に聞くところ羽根ならば飛ぶがごとくにみやこへもがな

とぞいへる。男も女も、いかでとく京へもがな、と思ふ心あれば、この歌よしとはあらねど、  
げに、と思ひて、人々忘れず。

問一 この日の月の大よその形を描きなさい。光っている部分を黒く塗ること。(6点)

【解答欄】



問二 傍線部①を、「今し」「来ぬ」の意味に注意し、交通手段を補いながら、現代語に訳しな  
さい。(8点)

【解答欄】

問三 傍線部②の「人々」の中には『土佐日記』の作者も含まれます。その作者の氏名を、漢  
字で書きなさい。(5点)

【解答欄】

問四 二重傍線部「とぞいへる」を品詞分解しなさい。単語ごとに横線を入れ、右横に、品詞  
と、用言の場合は活用の種類、付属語の場合は意味、活用語の場合は活用形も、それぞれ  
書きなさい。(10点)

【解答欄】

と ぞ い へ る

問五 傍線部③を、現代語に訳しなさい。(15点)

【解答欄】

問六 『土佐日記』は、どこから(出発地)、どこまで(目的地)の旅が描かれていますか。現  
在の都府県名で答えなさい(漢字で書くこと)。(6点)

【解答欄】(出発地)

(目的地)

問題六 次の孟浩然の詩「春曉」を読んで、後の問いに答えなさい。（合計50点）

春眠不覺曉  
处处聞啼鳥  
夜來風雨聲  
花落知多少

問一 この詩の形式を何と言いますか。漢字で書きなさい。（5点）

【解答欄】

問二 「曉」以外の押韻している字をすべて書き出なさい。（6点）

【解答欄】

問三 起句を訓読し、口語訳しなさい。特に「曉」「覺」の意味を必ず書くこと。（14点）

【解答欄】

（訓読文）

（口語訳）

問四 承句は「处处に啼鳥を聞く」と訓読します。「处处」や「聞」の意味に注意しながら、口語訳しなさい。（10点）

【解答欄】

問五 「夜來風雨聲」はどのような点で転句らしいか、説明しなさい。（10点）

【解答欄】

問六 孟浩然と同時代に生きていた中国の代表的な詩人を一人選び、その氏名を漢字で書きなさい。（5点）

【解答欄】